別紙1

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和　8年　1月16日

協議会名：池田町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
ワインタクシー株式会社	運行路線名：循環線 運行区間：役場～池田駅～役場 運行回数：1日7便 運賃：1回100円（小中学生50円、乳幼児無料） 【車両減価償却費等国庫補助】	利便性の向上を図るため、各種会合等を活用し、利用状況や利用者ニーズの把握に努めている。 平成30年度における運行系統の見直し、平成31年度においてもバス停留所の新設により、路線を一部変更している。 令和2～3年度については路線の見直し等は行っていないが、令和4年度に新設の公共施設へバス停留所を新設、令和5年度に池田高校や池田高校近隣の住宅街へバス停留所を新設するなど、路線の一部を変更し、利用者の利便性向上と新たな顧客層の掘り起こしを図った。 また、令和6年度には、池田高校の登下校時間とJRやバスとの接続時間に則した時刻表に改正し、さらなる利用者増を図った。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	A	○あいバス運行に係る目標・効果達成状況 1）延べ利用者数：9,010人【目標7,800人】 2）収支率：4.5%【目標4.1%】 3）公的資金投入額：7,499千円【目標8,500千円】 4）帯広陸別線への乗り換え人数：不明【目標2人】 5）JRへの乗り換え人数：不明【目標1人】 ○車両の取得に係る目標・効果達成状況 1）延べ利用者数：9,010人【目標7,800人以上】 2）収支率：4.5%【目標3.9%以上】 3）公的資金投入額：7,499千円【目標9,100千円以下】 すべての項目において、目標を上回ることができた。 令和6年3月に池田町地域公共交通計画を策定したことにより、国庫補助金上限額が増額し、「3）公的資金（町費）投入額」を例年より抑えることができた。 地域間幹線系統（帯広陸別線等）と支線のネットワークが構築され、広域的な移動を支援することができた。 池田町市街地の交通空白地域を解消することで、交通弱者の買い物や通院、通学等の生活に関する移動手段が確保されたとともに、高齢者等が積極的に外出する機会の創出に寄与することができた。	今後も引き続き、利用状況や利用者ニーズを踏まえたバス路線への改善に努め、効率的な事業の推進を図る。また、町ホームページ等への路線図時刻表の掲示により、住民に対してコミバスに関する情報を周知する。 さらに、池田町地域公共交通活性化協議会により策定された池田町地域公共交通計画に基づき、農村部交通の確保に向けた検討や運行状況の見える化等、より利用しやすい交通機関となるよう改善を図っていく。 なお、令和6年度中に運行内容の見直しを行い、令和7年10月から新しい路線・時刻表によりコミバスの運行を開始している。

別紙１－２

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和　8年　1月16日

協議会名：	池田町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

地域の交通の目指す姿 （事業実施の目的・必要性）	池田町は、北海道十勝平野の中央やや東よりに位置し、総面積は371.91平方㎞、人口は令和2年の国勢調査で6,294人である。町内の高齢化率が43.6%（R2国勢調査）と全国平均を大きく上回り、核家族化の進行により高齢者のみの世帯が多く、公共交通の発達した都市部への転出も増加している。また、面積が広い本町においては、自家用車の所有率が高く、高齢となっても日常生活の移動手段として運転を継続する方が多いため、安全面で大きな課題を抱えている。池田町の公共交通機関は、中心市へ通じる幹線交通として、JR及び民間路線バスが運行されており、JR、路線バスともに、通学や通院、買物等で利用する学生や高齢者等にとって重要な交通機関となっているが、幹線交通は生活交通に期待される利便性の面で不十分であり、市街地内に存在する公共交通の空白地帯においては、自家用車を持たない高齢者や障害者などの移動が制約され、地域社会から孤立する一因となっている。これらの現状を踏まえ、池田町内における生活交通手段を維持・確保し、地域住民の日常生活の移動や地域間幹線系統等との接続による広域的な移動支援を図っていく必要がある。

池田町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

池田町は、北海道十勝平野の中央やや東よりに位置し、総面積は71.91平方㎞、人口は令和２年の国勢調査で6,294人である。
町内の高齢化率が43.6%（R2）と全国平均を大きく上回り、幹線交通だけでは生活交通に期待される利便性の面で不十分であり、市街地内に存在する公共交通の空白地帯において、高齢者等の移動が制約され、地域社会から孤立する一因となっている。池田町内における生活交通手段を維持・確保し、地域住民の日常生活の移動や地域間幹線系統等との接続による広域的な移動支援を図っていく必要がある。

生活交通確保維持改善計画の目標

○池田町コミュニティバスの事業の目標
地域公共交通確保維持改善事業の実施に当たり以下の目標を設定する。
【あいバスの延べ利用者数】
令和7年度：7,800人以上、令和8年度：7,800人、令和9年度：7,800人
【あいバスの収支率】
令和7年度：4.1%、令和8年度4.0%、令和9年度：3.9%
【あいバスに対する公的資金投入額】
令和7年度：8,500千円、令和8年度：8,700千円、令和9年度：8,900千円
【あいバス⇔十勝バス帯広陸別線への乗り換え人数】
令和7年度：２人、令和8年度：２人、令和9年度：２人
【あいバス⇔JRへの乗り換え人数】
令和7年度：１人、令和8年度：１人、令和9年度：１人

令和７年度事業概要

運行路線名：循環線
運行区間：役場～池田駅～役場
運行回数：1日7便
運賃：1回100円（小中学生50円、乳幼児無料）

地域公共交通の現況

・ＪＲ根室線（池田駅、利別駅）
・十勝バス（株）（地域間幹線系統帯広陸別線）
・スクールバス（一般混乗６路線）
・コミュニティバス（あいバス１系統）
・タクシー（１社）

協議会開催状況

○令和6年5月28日（令和6年度第1回地域公共交通活性化協議会）
令和6年度事業計画及び収支予算（案）について合意
フィーダー系統補助に係る計画認定申請について合意
○令和6年12月26日（令和6年度第3回地域公共交通活性化協議会）
あいバスの運行内容見直し（案）について合意
地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）について合意
○令和7年1月27日（令和6年度第4回地域公共交通活性化協議会書面協議）
池田町利便増進実施計画（原案）について合意
○令和7年3月19日（令和6年度第5回地域公共交通活性化協議会）
池田町地域公共交通利便増進実施計画（案）について合意
池田町地域公共交通計画の一部変更について合意
○令和7年6月25日（令和7年度第1回地域公共交通活性化協議会）
令和7年度事業計画及び収支予算（案）について合意
フィーダー系統補助に係る計画認定申請について合意
○令和7年7月23日（令和7年度第2回地域公共交通活性化協議会）
池田町地域公共交通利便増進実施計画（案）の一部変更について合意
池田町地域公共交通計画の一部変更について合意
○令和7年9月2日（令和7年度第3回地域公共交通活性化協議会）
令和７年度補助分フィーダー系統補助に係る計画の変更について合意
令和８年度補助分フィーダー系統補助に係る計画の変更について合意
○令和7年12月23日（令和7年度第4回地域公共交通活性化協議会書面協議）
地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）について合意

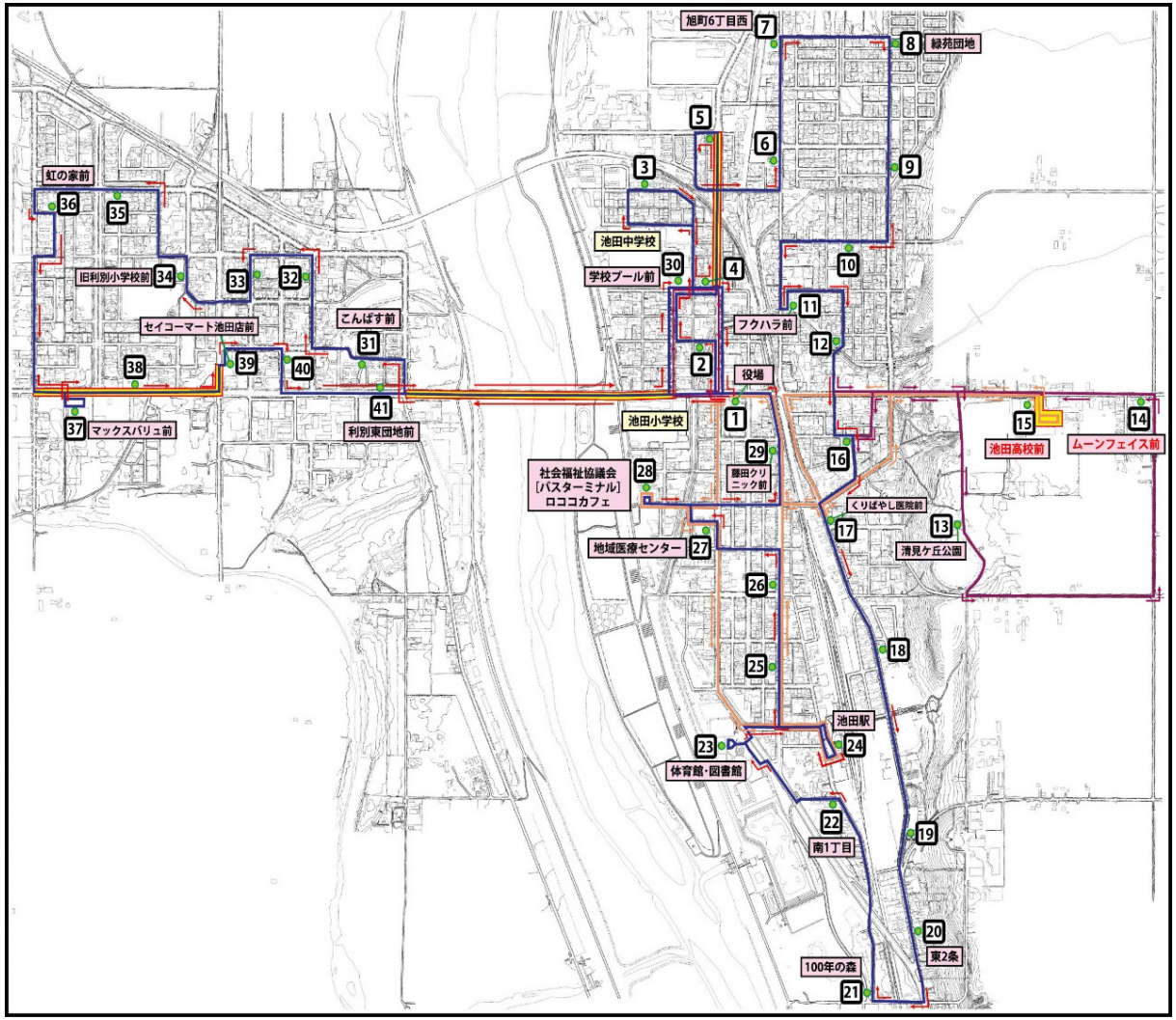
令和７年度事業の実施状況

１）プロセス、創意工夫

・町ホームページへの路線図・時刻表の掲示・主要施設へのバス路線図・時刻表配置によるコミバス利用周知

２）運行系統

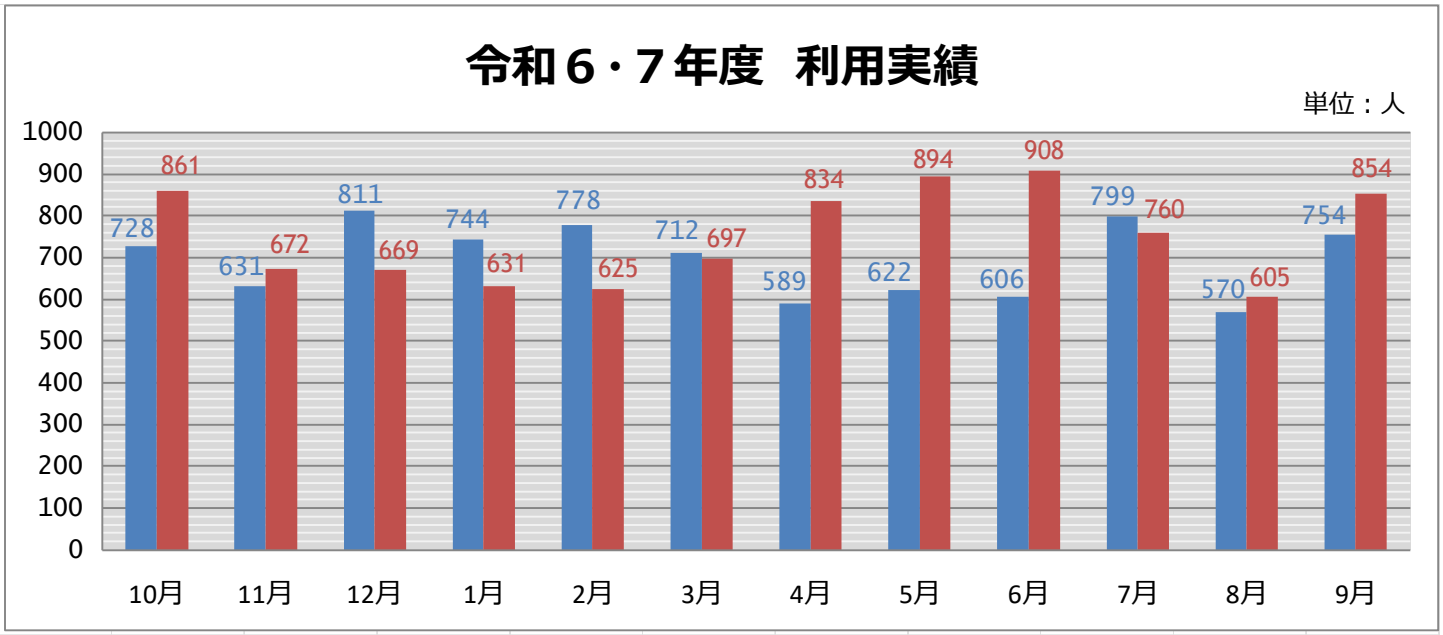
系統名：循環線



	路 線
	走行方向
	１便スクールバス接続便
	４便～ 学校プール前・ムーンフェイス前経由
	フリー乗降禁止区間

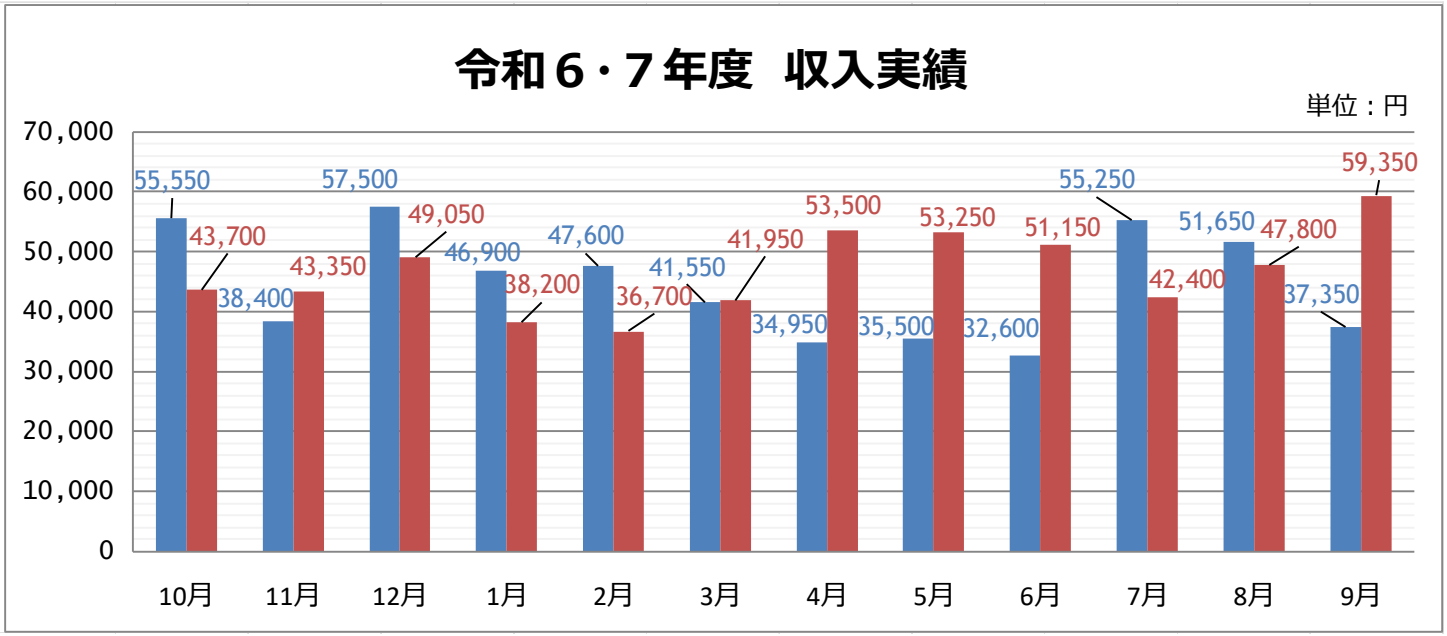
３） 利用実績

循環線		
月	令和６年度	令和７年度
10月	728	861
11月	631	672
12月	811	669
1月	744	631
2月	778	625
3月	712	697
4月	589	834
5月	622	894
6月	606	908
7月	799	760
8月	570	605
9月	754	854
合計	8,344	9,010



４） 収入実績

循環線		
月	令和６年度	令和７年度
10月	55,550	43,700
11月	38,400	43,350
12月	57,500	49,050
1月	46,900	38,200
2月	47,600	36,700
3月	41,550	41,950
4月	34,950	53,500
5月	35,500	53,250
6月	32,600	51,150
7月	55,250	42,400
8月	51,650	47,800
9月	37,350	59,350
合計	534,800	560,400



5）事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

6）目標・効果達成状況

○あいバス運行に係る目標・効果達成状況
１）延べ利用者数：9,010人【目標7,800人】
２）収支率：4.5%【目標4.1%】
３）公的資金投入額：7,499千円【目標8,500千円】
４）帯広陸別線への乗り換え人数：不明【目標２人】
５）JRへの乗り換え人数：不明【目標１人】

○車両の取得に係る目標・効果達成状況
１）延べ利用者数：9,010人【目標7,800人以上】
２）収支率： 4.5%【目標3.9%以上】
３）公的資金投入額： 7,499千円【目標9,100千円以下】

・すべての項目において、目標を上回ることができた。（※）
・令和６年３月に池田町地域公共交通計画を策定したことにより、国庫補助金上限額が増額し、「３）公的資金（町費）投入額」を例年より抑えることができた。
・地域間幹線系統（帯広陸別線等）と支線のネットワークが構築され、広域的な移動を支援することができた。
・池田町市街地の交通空白地域を解消することで、交通弱者の買い物や通院、通学等の生活に関する移動手段が確保されたとともに、高齢者等が積極的に外出する機会の創出に寄与することができた。

※「４）帯広陸別線への乗り換え人数」及び「５）JRへの乗り換え人数」については、毎年９月に実施している乗降調査にて把握しているが、今年度は実施できなかったため、不明としている。

7）事業の今後の改善点

今後も引き続き、利用状況や利用者ニーズを踏まえたバス路線への改善に努め、効率的な事業の推進を図る。また、町ホームページ等への路線図時刻表の掲示により、住民に対してコミバスに関する情報を周知する。

さらに、池田町地域公共交通活性化協議会により策定された池田町地域公共交通計画に基づき、農村部交通の確保に向けた検討や運行状況の見える化等、より利用しやすい交通機関となるよう改善を図っていく。

なお、令和６年度中に運行内容の見直しを行い、令和７年10月から新しい路線・時刻表によりコミバスの運行を開始している。

8）地方運輸局等における二次評価結果（案）

運輸局記載欄